

トライしよう!

①**曲全体の流れの把握**:まず、譜面を見ながら全体の演奏を聴いてみましょう。  
曲の流れを把握しながら自分のパートがチェックできます。

②**パート音源と譜面のリンクでのパートの演奏の解釈→練習**:  
必要に応じて、自分のパートだけをソロにして聴くこともできます。  
細かいところまで分かります。  
※テンポ調整機能を使うことにより、ゆっくりのテンポでの練習も可能です。

③**バック演奏との合奏練習**:自分のパートが何をするのか確認できたら、今度は自分のパート音源をミュート(消音)し、音源と自分の演奏をアンサンブルしてみましょう。  
きっと、バンドの中に居るような気分で練習ができるでしょう。

④**演奏の録音 = 演奏確認**:録音機能を使って自分の演奏を客観的に聴くことも可能で、自分の演奏確認が出来ます。

1

DIANA

作詞/作曲: Paul Anka  
編曲: 大田光宏

♩ = 140

Intro

譜面に対応した  
パート音源です。

音源のスタート、ストップボタン  
Recボタンで、自分の演奏が録音出来ます(※1)

00:00 00:00

エレキベース

ドラム

エレキギター

オルガン

ヴォーカル

クリック

ボリューム - + パンポット L R: ソロ ミュート

ボリューム - + パンポット L R: ソロ ミュート

ボリューム - + パンポット L R: ソロ ミュート

ボリューム - + パンポット L R: ソロ ミュート

ボリューム - + パンポット L R: ソロ ミュート

ボリューム - + パンポット L R: ソロ ミュート

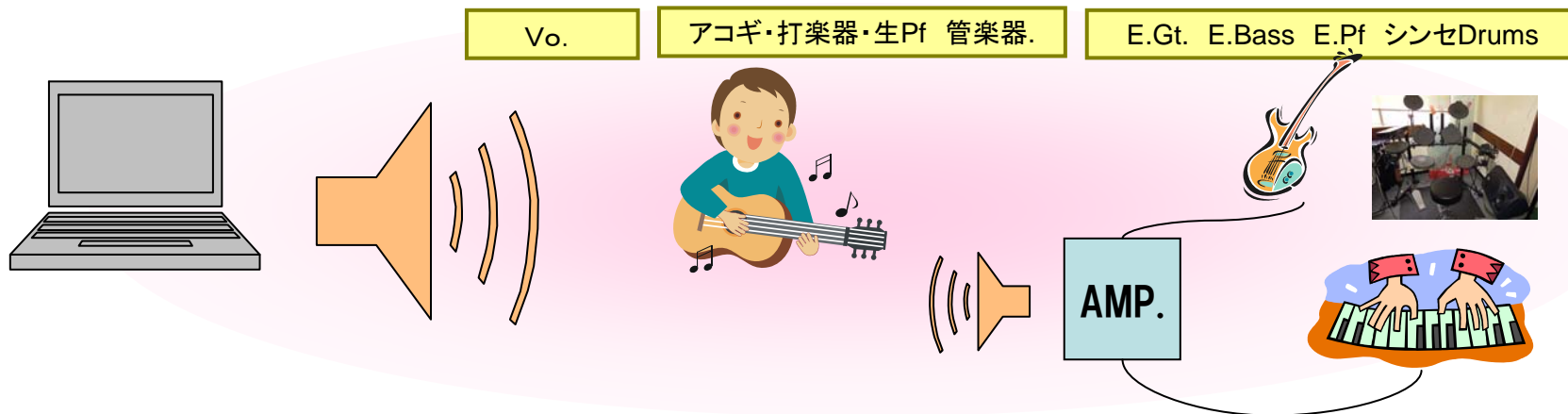
テンポ調整=Key. 調整

パート毎音源の、音量・  
左右バランスの調整

ソロボタン クリックしたところのパート音を出します(複数可)  
ミュートボタン クリックしたところのパート音を消します(複数可)

# 演奏のセッティング……1 = 音源と演奏

音源 + 自分の演奏……Aパターン: Web音源をPCより音を出し + 自分の音は通常練習形態で



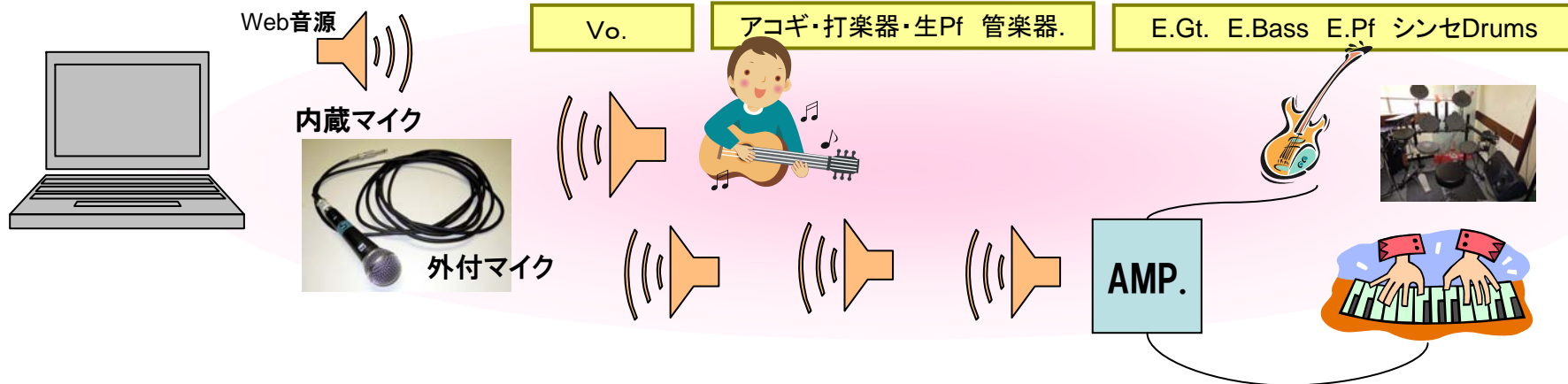
Bパターン: Web音源と自分の演奏を一緒にスピーカーから出す  
=オーディオインターフェイスORミキサーの使用=



# 演奏のセッティング……2=音源と録音

## 音源 + 自分の演奏録音……A-1パターン: マイク録音

生音はそのまま、電子機器はアンプで音を出して、マイクを使って録音



## A-2パターン: Line録音(電子楽器対応)

電子機器はPCのマイク(line in)からダイレクトに

Bパターン: Web音源と自分の演奏を一緒にスピーカーから出す  
=オーディオインターフェイス(OI)  
ORミキサーの使用

PC音源をミキサー(OI)へ

生音はマイクを使い  
ミキサーに

AMP.

PC音源と自分の演奏音源を  
一緒に聴きながら録音出来ます

電子機器はミキサー(OI)に

